

取り違い注意: CPT-11+TS-1併用療法には、胃がん用と大腸がん用があります。

疾患名 : 進行・再発胃がん 1クール : 28日 総クール数 : PDあるいはPS悪化まで

1. 薬剤

抗癌剤一般名	商品名	標準投与量	投与日	用量規制毒性
イリノテカン	イリノテカン塩酸塩「タイホウ」	80 mg/m ²	Day1,8	血液毒性(グレード3以上)、下痢
S-1	ティーエスワン	80 mg/m ²	Day1-14	血液毒性(グレード3以上)、消化器症状(グレード2以上)

2. レジメン

投与日	ルート	投与時間	使用薬剤名	標準投与量	備考
Day1-14	内服(1日2回)		ティーエスワン	80 mg/m ²	
Day1.8	点滴静注 (本管)	30分	アロキシ(7.5mg/5mL)	1A	イリノテカン投与開始 30分前より
			デカドロン(3.3mg/1mL)	3A	
			生食 50mL		
Day1.8	点滴静注 (本管)	90分	イリノテカン塩酸塩「タイホウ」	80mg/m ²	直射日光を避けること
			生食 500mL		

3. 初回投与基準

- (1) PS規定: PS 0~2、発熱がない
- (2) ヘモグロビン \geq 9.0g/dl、白血球数 3000~12000/mm³、好中球数 \geq 2000/mm³、血小板数 \geq 10万/mm³
- (3) 総ビリルビン \leq 2.1、AST、ALT $<$ 2 \times 正常値、クレアチニン $<$ 正常値
- (4) 下痢(水様便)、腹痛がない

4. 休薬基準(休薬を考慮する値・症状など)

- (1) 白血球数 $<$ 3000/mm³、好中球数 $<$ 2000/mm³、血小板数 $<$ 10万/mm³
- (2) AST、ALT \geq 2 \times 正常値、クレアチニン \geq 正常値
- (3) グレード2以上の下痢、口内炎、悪心、嘔吐、食欲不振などの消化器症状

5. 休薬後再開基準

- (1) 白血球数 \geq 3000/mm³、好中球数 \geq 2000/mm³、血小板数 \geq 10万/mm³
- (2) AST、ALT $<$ 2 \times 正常値、クレアチニン $<$ 正常値
- (3) 下痢、口内炎、悪心、嘔吐、食欲不振などの消化器症状が回復している
- (4) PS 0~2

6. 減量基準 (以下の値、症状が出現した場合、次回再開時減量を考慮する。)

- (1) 白血球数 \leq 1900/mm³、好中球数 \leq 1000/mm³、血小板数 \leq 4.9万/mm³
- (2) AST、ALT \geq 2 \times 正常値、クレアチニン \geq 正常値
- (3) 下痢(水様便・夜間便・腹痛・排便回数の増加 4~9回/日)、口内炎、その他の非血液学的項目がグレード3以上、悪心、嘔吐、食欲不振などの消化器症状がグレード4以上

TS-1 減量の目安 120mg/day \rightarrow 100mg/day \rightarrow 80mg/day \rightarrow 休薬または投与期間の短縮

イリノテカン 減量の目安 20~25%減量